九州歯科学会雑誌投稿規程

1. 本誌への投稿者は、全員本学会会員に限る。
2. 本誌は、歯学とこれに関連ある領域の原著、症例、総説、学会抄録および雑報を内容とし、投稿は他の刊行物に未発表のものに限る。
3. 論文は人を対象とする場合にはヘルシンキ宣言を遵守したものでなければならない。また、動物実験は「動物実験に関する所属研究機関の指針」に基づいて倫理的に行われたものでなければならない。
4. 原稿作成方法
a. 原稿は2部（正1部、副コピー1部、ただし写真は正副とも原本）提出するものとする。
b. 原則としてワープを使用し、フロッピーディスクを提出する。
c. 和文原稿は、B5判用紙を使用し、1頁25行×20行書きとする。句読点やカッコは、1字に数える。
   外国語原稿の場合は、A4判用紙を用い、ダブルスペースで印字する。
d. 原著、症例、総説にあたる研究目的、方法、結論など要点をまとめて、和文原稿には英文抄録（500字程度まで、和文対訳を添付）を、外国語原稿には和文抄録（800字程度）を作成し、本文とは別綴りとして添付する。
   記載形式は本文に準ずる。
e. キーワードは英語で3〜5語とし、和文原稿では英文抄録の次に、外国語原稿では本文第1頁の所属の次に印字する。
f.本文
1) 第1頁に表題、著者名、所属を記載する。
2) 見出し（緒言、材料および方法、結果、考察、結論、引用文献など）は、各章の冒頭、行中央に記載する。
3) 各章のはじめに1行あけて見出しを書くこと。
4) 各章内の区分け記号は原則として次の順とする。
   1．．．A．．．1 …… a …… i)
5) 数字はアラビア数字を用いる。
6) 略字の使用法は次のとおりとする。
   a. 略字の後にピリオドを要しないもの: m, g, l, M, N, sec, min, hr, ℃, %, pH, LDなど。
   b. m, g, l, Mなどの接頭語: k, d, c, m, μ, n, p, fなど(cm, nm, kg, μg, dl, fMなど)
   c. 略字の後にピリオドを要するもの: i, v, i.p., s.c., i.m., Fig., temp., wt.など。
   d. 和文原稿の本文では、時間の単位はmsecを除き原則として日本語とする。
7) 本文中の引用文献には該当人名あるいは事項の右肩に片カッコで番号をつける。
8) 図（グラフ、写真など）および表の挿入箇所を本文原稿用紙の右欄外に朱書すること。
9) 和文原稿は現代かなづかいで、学術用語のほかはなるべく常用漢字を用いる。文中の外国語は「カタカナ」
   または英字とする。
g. 引用文献の記載方法は次のとおりとする。
1) 引用文献は本文末尾に一括し、引用順に番号をつけて記載する。
2) 記載順序
   ［雑誌］引用番号：著者名：論文表題、雑誌名：巻：通巻頁、西暦年。
   ［単行本］引用番号：著者名：論文表題、書名（編集者名）上・下巻または巻数、版数、発行社名、その所在都市名、西暦年、引用頁。
   ［翻訳書］引用番号：著者名（原語で）：翻訳者名：翻訳表題、翻訳書名（編集者名）翻訳書の上・下または巻数、翻訳書版数、翻訳書出版社名、その所在都市名、翻訳書発行西暦年、翻訳書引用頁：原書名、原書の上・下巻または巻数、原書の版数、原書の発行社名、その所在都市名、原書発行年。
   * 3) 共著者名が10名を越える場合は、10名を列記した後に「他」または「et al.」とする。
4) 引用論文掲載雑誌が未発行の場合は、掲載年の次に「印刷中」または「in press」と記す。また、投稿中であっても、まだ受理されていない論文は引用文献から除外する。
5) 雑誌の略名は原則として日本自転科学雑誌総覧または日本医学雑誌名表ならびに Index Medicus などによるものをとする。
6) 記載例
1) 高山義明, 高久田和夫, 宮入裕夫: 光弹性皮膜法を用いた義歯床の力学的検索, 第 2 報 一様曲げモーメントをうける上顎全部義歯, 歯科器 8: 803-811, 1989。
3) 石川悟朗, 秋吉正豊: 口腔病理学 II, 永楽書店, 東京, 1982, 425-429。
5) 長谷川裕司: 治療計画, 最新版治療アトラス (木下四郎編), 医歯薬出版, 東京, 1983, 121-126。

1) 図は 1 枚ごとに B5 判の台紙に貼り, 台紙の右下に刷上りサイズ (横または縦の長さ), 図の番号および著者名を書する。
2) 図 (グラフ, 線画, 写真など) は図中の文字, 数字, 記号, 網かけなどを除いたものを原図とし, その上に重ねたトレーシングペーパーの相当部位に文字などを記入する, あるいは, このトレーシングペーパーに代えて完成図を添付する。
3) 表は B5 判用紙に印字し, その右下に表の番号と著者名を朱書する。
4) 図, 表の表題ならびに説明文, 個別に一括して印字し, 抄録とともに個別として添付すること。図のレイアウトについてとくに希望のある場合は, 別紙に図示して添付すること。
5) カラー写真は精度をよくするため, 極力ポジフィルムを提出すること。
i. すべての原稿の右下に著者名を朱書し, フロッピーには, 著者名, ワープロ機種名あるいはコンピューター機種名とソフト名を記載すること。

5. 投稿に際しては、「投稿の手引」を参照し、「論文投稿表」と「原稿自己チェック表」を提出する。いずれも学会事務局に請求のこと。
6. 投稿原稿の受理ならびに掲載順序については, 編集委員会で審査を行い審議決定する。
7. 本誌に掲載された論文の著作権 (著作財産権, Copy right) は, 本学会に帰属する。但し, 商業的利用についてはその都度, 本学会と当該著者の承認を要するものとする。
8. 著者による校正は原則として再校までとする。
9. 著作権の統一に基づき必要な論文の変更については編集委員会に一任する。
10. 本誌は年 6 回, 偶数月の 25 日に発行する。各号の原稿締切日は発行 2か月前, 偶数月の 20 日とする。
11. 掲載料は依頼原稿を除き有料とする。
   a. 学位論文を除き各号 10 頁までは頁あたり 7,000 円, それ以降分は 9,500 円 (実費) とする。
   b. 学位論文および各号 110 頁をこえる場合の特別掲載論文は頁あたり 9,500 円とする。
   c. カラー写真は実費を著者の負担とする。